

K S K Q

エヌピーオー

# NPOちゅうぶ 通信

ねん がつごう  
2025年6月号



|  |  |
|--|--|
| ゆうせいほごほうもんだいえいがじょうえいかい こうえんかい<br>優生保護法問題映画上映会 & 講演会        | あか あお<br>赤おに・青おに×ムーブメント 交流会            |
| しょうだいらん おおさかし がくしゅうかい きほんこうそう<br>障大連 大阪市ブロック学習会 基本構想       | えーいーでいこうしゅう ふぉー ゆー<br>A E D 講習 for You |
| おおさか かんさいばんぱく しょうがいしゃ たの<br>大阪・関西万博 障害者も楽しめるのか！            | じるせいしん で あ<br>JIL精神プロジェクトとの出会い         |
| ばんぱく い<br>万博に行ってよかったです！                                    | きどみち おへや<br>木戸通雄の部屋                    |
| すぎはらだいち じりつせいかつ ほうこく<br>杉原大地さん 自立生活プログラム報告                 | マノスタ                                   |
| でいーびーあいぜんこくしゅうかい けんりいいんかい うご かだい<br>D P I 全国集会 権利委員会の動きと課題 | きょうりよくかい ひ<br>協力会費 カンパ                 |
| ちゅうぶを語る じむきょく にしおえつこ<br>ちゅうぶを語る 事務局 西尾悦子                   | へんしゅうこうき<br>編集後記                       |
| しまぶくろ わ いえ<br>島袋さんようこそ我が家へ                                 |  |

# ゆうせいほ ご ほう もんだい 優生保護法問題 え い が じょう えい かい こう えん かい 映画上映会 & 講演会

ゆうせいほ ご ほう もんだい り かい こんご とくみ こころ よ つど めいさんか  
優生保護法問題を理解し、今後の取組に心を寄せた集いでした 169名参加

5月16日、問うネット(おおさか旧優生保護法を問うネットワーク)、大阪  
聴 力 障害者協会、大阪弁護団の三者で開催し、大阪府内のC I Lに結集す  
る障害者を中心に、幅広い方が参加くださいました。

ちんもく し ひと ていねい せつめい  
沈黙を強いられてきた人に丁寧な説明を！！

冒頭、優生連共同代表で、映画の製作にも 関 ったろうあ連盟の大竹浩司  
さんに挨拶をいただきました。

大竹さんから、「今一番大事なのは被害者の掘り起こし。沈黙を強いられた  
人に丁寧な説明をしていきたい。」という 話 がありました。

なぜ、子どもを作ってはいけない人と言われなければならなかったのか！！

映画「沈黙の50年」は、本当に、心に迫るものがありました。

兵庫の原告 小林宝二さん、喜美子さん(共に聴覚障害者)の実話です。

厳しい差別を生き抜いてきて、夫婦で心を通わせて共に生きる 喜びもつかの間、赤ちゃんがダメになっ  
たと無理やり中絶と強制不妊手術を受けさせられました。

何も説明もなく行われる手術の残酷さ。強制不妊手術を勧めたのは、宝二さんのお母さんでした。「赤  
ちゃんは絶対にダメ」と言う母の憎々しさ。宝二さん夫婦は、「不良な子孫の出生を防止する」優生思想に基  
づく国策であったなど、知るよしもありません。優生保護法によって、親子関係も不幸な関係になりました。



必死に生きてきて、当たり前の幸せな生活を望んで生きているだけな  
のに、なぜ、国から、そして身近な人から、子どもを作ってはいけない  
と言われなかったのか。涙が出ました。

ちょうかくしょうがいしゃ と なか  
聴覚障害者はコミュニケーションが取れない中で

がまん い しょうがいしゃ い  
我慢して生きてきた かわいがられる障害者になれと言われた

大聴協の中岡正人さんに映画の解説をいただきました。お話で特に  
印象に残っているのは、聴こえないことで受けてきた厳しい差別の  
実態でした。

「昔の聴こえない人は仕事で差別、いじめがあり、給料も聴こえる人  
に比べてずいぶん安かった」、「かわいがられる障害者になれと言われ  
てきた。聴こえる人の言うことは我慢して従うしかなかった。自分で決

める力は奪われてきた。」という実態は障害者全体に通じる話だと思いました。

さらに、手話を学ぶことが否定され、言語発達が不確実になった結果、「聴覚障害者は9歳の壁を超えるこ  
とができていない」と、能力を低く見られてきたというお話もとても、衝撃的でした。

そして、「コミュニケーションは生きる力であるのに、親子でもコミュニケーションがなく、会話を楽しむ  
経験もできず、聴こえない人は常に緊張状態で我慢を重ねて生きてきた。」というお話からコミュニケー  
ションがないという状態はいかに辛いのかと改めて思いました。



こういう聴覚障害者おかれてきた差別的な背景の中での強制不妊問題を理解していかないと改めて思いました。

また、調査の活動の結果、「聴こえない子どもを産んではダメ」という圧力が強く、犠牲になってきた人が多い、親、親戚だけでなく、学校の教師が関与してきた実態のお話もありました。

情報不足、知られたくない思い、証拠や記録がないなどの事情で、提訴できている人が少ないけれど、これからは、優生思想をなくす運動を進めていくと、力強いお話をいただきました。

## 障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けて、今後の課題

さらに、DPI副議長の尾上浩二さんから、最高裁の判決を受け、12月27日に内閣府から発表された「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」の批判的な紹介と、今後の課題をお示しいただきました。

まず、政府の取組で丁寧な障害者団体等へのヒアリングがあったことは評価できるが、当事者などから指摘を受けた内容が十分に行動計画に示されていないという指摘がありました。

特にかい離が著しいのが、「子育て等の支援」「インクルーシブ教育の推進」「障害女性などの複合差別への取り組み」とのお話がありました。

子育て支援の課題では、具体的な取組として、支援策の充実などが挙げられずに、「障害者が希望する結婚・出産・子育て支援取組事例集の周知」に留まっている問題が、また、教育については、優生保護法を学校教育を通じて広げていったことへの反省もなく、インクルーシブモデル校の取組など分離を前提とした「交流・共同学習の推進」に留まっていると問題が指摘されました。また、複合差別の問題はまったく取り上げられていないという話です。

差別のない社会の実現のためには、構造変革をもたらす取組が必要であり、インクルーシブ教育への転換、「優生保護法の歴史と被害」について必須教育にする、医療・教育・福祉などの専門職への

社会モデルの教育の実施などの必要性を挙げられました。さらには、記憶を風化させず、未来への取組拠点としての資料館の設置、優生人権被害を無視してきた歴史的経過の反省に立つて国内人権機関を設置すること、優生保護法問題を踏まえた障害者基本法の改正などについて、提起されました。

そして、国の行動計画については、「私たち抜き」であってはならないという認識に立ち、定期協議のための作業部会や、障害者政策委員会による検討によって、改訂、スパイラルアップをさせないと訴えられました。

## 被害を掘り起こし 謝罪と補償を届けよう！！

最後に、優生連の共同代表の大橋由香子さんから、やっとここまで来た。でも、まだスタートだ。障害の違い、親子、産むことを奪われた障害者、産めよ増やせよと言われている女性と分断されてきたが、だからこそ、ともに闘おうと呼びかけがありました。そして、弁護団の堤弁護士から、サポート弁護士制度の活用のお話がありました。今後の闘いへの想いを確認し、会を終わりました。

(文責:堀)



### 今後の課題・運動側の取り組み①

- 「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現」のためには、**構造的な変革につながる取り組み**が不可欠
- **学校教育と優生思想**
  - 大前提としての**インクルーシブ教育への転換**
  - かつて優生保護法を肯定して教えてきた反省をふまえて、「**優生保護法の歴史と被害**」の学習
  - 医療・教育・福祉・司法など専門職に対して、**優生保護法の歴史・被害**や「**社会モデル**」についての研修
- 優生思想をなくす拠点としての**資料館**

### 今後の課題・運動側の取り組み②

- 「結婚、出産、子育てを含めた希望する生活の実現に向けた支援」  
→「周知」だけでなく、**予算を伴う人的支援**の充実を
- **脱施設**(精神科病院を含む)・**地域生活**の推進
- 優生思想に基づく差別の根絶を盛り込んだ**障害者基本法改正** cfハンセン基本法
- 人権侵害の継続・拡大をもたらした**救済機関**の不在
  - **国内人権機関**の設置と政策委員会の再編・強化
  - 当面、政策委員会の**定例化**や**分科会**・**PT**の設置など





## わたし 私 だったかもしれない こうせい 後世に語り継ぐ一員となりたい

聴覚障害者当事者スタッフ・青おに まつくら ゆう な 松倉 由夏

「私 だったかもしれない。産まれた時代が違ったならば…」  
映画会の会場を出た後に、ふと頭に浮かんだ。

子どもを産むことができたらとイメージを膨らませる小林夫妻を、ろう者の俳優が演じていた。  
表現の1つ1つがとてもリアルで何度も泣きそうになった。



子どもをあやす未来、子どもを抱っこする未来、肩車する未来…1つ1つの表現の先に虚無が待ち受ける。人がぐるぐると回る表現は、時間の経過を表していた。ろう者の俳優たちの演技に脱帽。  
現実には子どもはおらず…夢の時間が終わっていくシーンに少し涙が出たのはここだけの話。

手術など、なにもなければあったはずの幸せな時間。

「赤ちゃんに会いたい。。ごめんなさい。」

妻の喜美子さん、「怖い夢を見た。」と言っていた。

そうだろう。病院に連れていかれて、医師の話も看護師の話も分からず。わけも分からないままに、医療機器の照射があてられる。怖くないはずがない。映画の主人公である小林夫妻は何も悪くない。だけど「ごめんなさい」と言った。国よ、この言葉の重みが分かるか。

静岡にろうの強制不妊手術被害者が多いのは、ろう学校の校長先生が卒業生を集めて、「子どもを産んではいけない」と言っていたことが一因だったという。当時の校長先生たちは、どんな気持ちで旧優生保護法裁判の行く末を見ているのだろうか。

大阪聴覚障害者協会の中岡さんの話もまた、1人1人の心に残る話だったと思う。ろう学校で昔、手話が禁じられていた。中岡さん曰く「手話を使って話したら、叩かれて小屋に入れられた」そうだ。

私がろう学校に通っていた時は当たり前のように生徒も先生も手話で話していた。手で話す、にぎやかな世界に足を踏み入れた喜びとワクワクする気持ちを、ろう学校に転校してから日々感じていた。

「何もできずに黙ってきたという人がたくさんいる。」

この事実を忘れず、後世に語り継ぐ一員となりたいと思う。

映画会に参加したろう者が言っていた。「今日は車いすの人多いな」

私は「大阪の障害者団体が集結していますので」と答えた。

障害種別関係なく、この旧優生保護法問題や優生思想に立ち向かっていく始まりの日になったら良いと思いいながら映画会を振り返っている。



自由な外出は、自立  
生活の第一歩！



障大連 大阪市ブロック

## 大阪市バリアフリー基本構想と万博

始まると大人気!!の万博。  
障害者は万博を楽しめるのか？  
改善することは何か？徹底検証

新大阪、天王寺、梅田、難波、京橋…市内25地区のうち10地区は終了。で何がどうなった？

残り15地区。天満橋、北浜、淀屋橋、新今宮、上本町・谷町九丁目…困ってることない？

2023年度から動き出した大阪市のバリアフリー基本構想。4年間で25地区の見直しを急ピッチで進めています。今回は、新大阪、天王寺、梅田、なんば、京橋を中心にこの2年間の取り組みを振り返り、これからの課題を一緒に考えます。また、後半では、万博なども含めて当事者の意見反映について一緒に考えていきたいです。ぜひご参加ください。



### ●基本講演：堀薫子さん（自立生活センターナビ・障大連交通部会）

基本構想では広域委員として梅田、難波、天王寺、京橋などのまちあるき、会議にも参加。大阪府福祉のまちづくり条例改正にも関わる。万博情報についても話してもらいます。

### ●京橋地区の取り組み：自立生活センターある「永谷朋裕さん」

京橋で実際に取り組み、解決したこと残った課題について話してもらいます



地下鉄京橋駅にあるコムズガーデン。地上は柵だらけだったのが、今回、障害者意見も反映され見事に柵が撤去された。ところが…違法駐輪がたふさん。あなたならどうしますか？



●日時：7月18日（金）13：30～16：30 参加費無料

●大阪府福祉情報コミュニケーションセンター（コミセン）4階（会議室1A）**zoom 併用**

●申し込み：Zoomの方は7月11日（金）までにお申し込みください。



主催：障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議（障大連）

TEL：TEL06-6748-0646 FAX 06-6748-0673

[syodairen@mbr.nifty.com](mailto:syodairen@mbr.nifty.com)

企画担当：石田



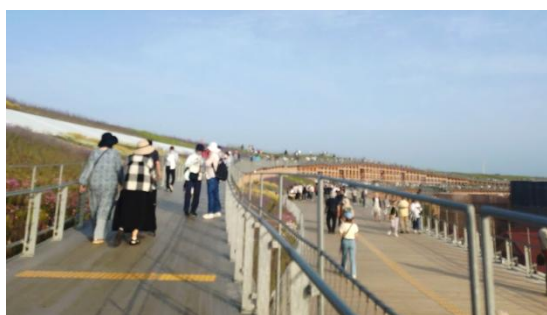
# おおさか かんさいばんぱく しょうがいしゃ たの 大阪・関西万博 障害者も楽しめるのか！！

大阪・関西万博は、アクセシブルでインクルーシブな万博、障害の有無に関わらず同じ水準のサービスを享受できる万博を自指して取組が進められました。

（施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン改訂版）（ユニバーサルサービスガイドライン 展示・催事／演出・飲食／物販）検討会などを通じて多くの当事者の参画がありましたが、本当に楽しめるのか、総括と評価が必要です。堀のプライベートでの5月の来場経験から気づきを語ります。

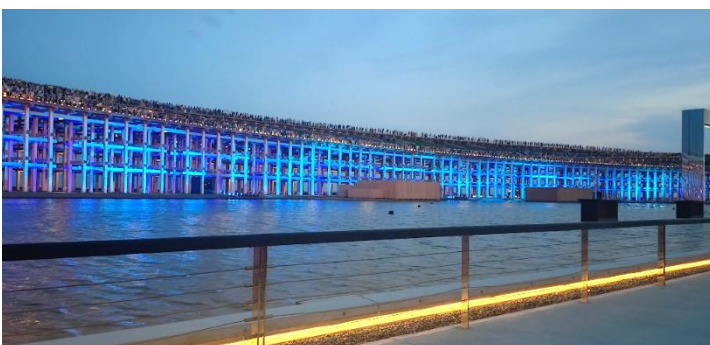
## おおやね じょう くるま 大屋根リング上にも車いすトイレがあります

大屋根リングへは24人乗りエレベーター、車いすトイレが完備されています。点字ブロックも黄色が実現できたのは本当に良かった。しかし、リング上の展望デッキには点字ブロックがないという声があります。大屋根リングから、会場を一望する風景は圧巻で、ぜひ体験してみてください。



## ばんぱく すいじょう よる にじ よやく なしで も くるま せき 万博の水上ショー「アオと夜の虹のパレード」は予約なしでも車いす席があります

堀は、抽選予約はショーもパビリオンも全滅でした。でも、夜2回ウォータプラザで開催される水上ショーは見たかったので、多少見にくくてもいいかという覚悟でトライしました。車椅子席は、正面（上、下）、東西にあります。予約観覧席になっているのは正面だけのようでした。1時間前に行くと、警備員が私を見かけて案内してくれて、東側車椅子席がゲットできました。声もプロジェクションマッピングも正面よりは劣ると思いますが、十分に満足できました。大屋根リングからも見ようとする人でいっぱいでした。



## かいじょうない ゆうぐ 会場内にはインクルーシブ遊具も！

「ここはみんなが集い交流できるあそび場です。あらゆる年齢、性別、能力、国籍の人たちが集う場所です。あそびがある暮らしを地球上のすべての人に」と案内板に記載されています。



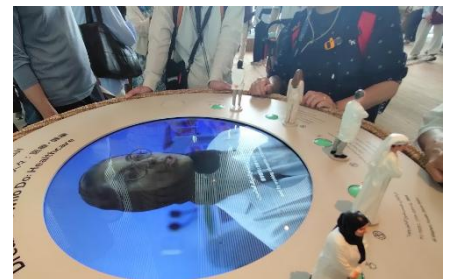


## パビリオンは車椅子でも楽しめる工夫がたくさん！

アメリカ館、中国館、ドイツ館、ペルー館、モナコ館、UAE(アラブ首長国連邦)館、コモンズ A館を観ました。展示で懸念されるのは、人の背中を見るばかりで車椅子だとほとんど見えないのではないかとことです。アメリカ館はとても工夫されていました。通路に沿って、複数のモニターが頭上にあり壁面の展示も含め車椅子で見やかったです。また、スクリーンなどには車椅子席が設置され、誘導もきちんとしてくれました。



UAE館は、アラブの雰囲気全体を感じることができ、パフォーマンスも平土間で見やすかったです。しかし、右の展示テーブルは立位で見れる画像位置で車椅子からは見えにくく残念でした。



中国館(左)も巨大展示版が壁面全体にあり、全体に見やすく親切でした。ドイツ館(中)の展示はマスコットのサーキュラーと共に回り、展示にタッチすると音声案内が流れる仕組み。タッチ位置が少し高い場所もありましたが、大体利用できました。展示テーブルの高さは良い感じでした。モナコ館(右)は、手を入れて触ると画像が反応する仕掛けがありました。触覚を楽しむものですが、しかし、画像がアウトプットなので視覚障害者が楽しめるものではありませんでした。



## カームダウンルームをもっと使いやすくしてほしい

同行した発達障害がある息子が疲れて大変になったので、カームダウンルームを使えるものなら使おうと思いましたが、なんと、鍵がかかっており、誰にどう連絡すれば使えるのかもわかりませんでした。しんどい時にすぐに使えるようにしてほしいと思いました。





# ばんぼく い 万博 行ってよかったです！

あか すぎはら たいち  
赤おに 杉原 大地

## かいじょうない 会場内はバリアフリー かいご 介護ベッドもついている

あか すぎはら たいち 赤おにの杉原大地です。今回は5月12日に行った万博についてお伝えします。

まず、会場には母と車で行きました。車は隣接している障害者用駐車場に止めました。会場に行く途中、舞洲あたりから障害者用駐車場の案内表示があったので分かりやすかったです。入場は東ゲートから入ったのですが、障害者専用レーンがあったので並ばずに入れました。

駐車場でも、ゲートでも、障害者手帳の確認が無かったので不正が心配でした。

会場内は基本的にバリアフリーで、車椅子用トイレも十分にありました。僕が使ったすべてのトイレに介護ベッドがついていました。



## パビリオンは優先レーンでスムーズに入れた

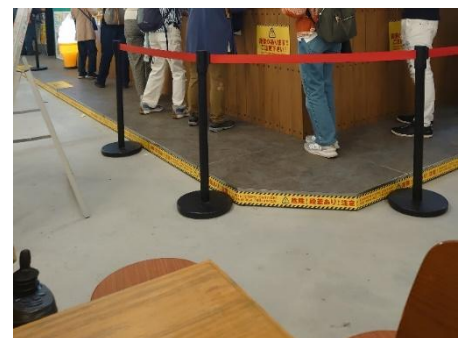
パビリオンはイタリア館、ハンガリー館、ベルギー館、スペイン館、フランス館、アメリカ館、オーストリア館、スイス館、バーレーン館に入りました。車椅子は優先だったのだから並ばずに入れました。本場のワッフルが食べたかったのでベルギー館の前の店に3回も買いに行っただけですが、毎回45分待ちだったので結局諦めました。アメリカ館は車椅子用の観覧スペースがあったりしてよかったのですが、出入口のドアの敷居に2、3センチの段差があったのでスムーズに通れませんでした。ハンガリー館にも同様の段差がありました。最後に入ったバーレーン館では2階でスタッフから話を聞くのですが、階段と離れたエレベーターで僕が上がっている間にはほとんど話が終わっていて残念でした。また、鉋物などの匂いを嗅ぐ体験コーナーでは車いすで届かない位置に容器があって壁から外すことができなかったのでもったいありませんでした。ドイツ館にも行きましたが、車椅子は1時間に3組ずつしか入れなくて、予約も出来なかったのでもったいありませんでした。



## フードコートの注文カウンター前に段差が！？

昼食はフードコートのパン屋で買った450円のカレーパン、フランス館のパン屋で買った560円のクロワッサン、アメリカ館のレストランでテイクアウトした650円のフライドポテトでした。クロワッサンはとても層が厚くておいしかったです。ポテトに付属していた、毒々しいオレンジ色のソースもおいしかったです。コンビニで買うことも考えましたが、行列ができていたのでやめました。

夕食は18時過ぎにフードコートで食べました。注文まで約20分並びましたが、席は確保できました。ほとんどのメニューが1000円前後で、僕の注文した炒飯は単品が880円、定食にすると1280円でした。ここでは少し問題がありました。まずテーブルが多過ぎて通路が狭く、車椅子で通れないところが多くありました。また、注文カウンターの前に15センチくらいの段差があるので、1人でいった車椅子の人は困ると思いました。少し残念なところもありましたが、行って良かったです。ワッフルも買いたいし、ドイツ館にも行きたいのでもう一回行こうと思います。





じりつせいかつ  
自立生活センター・ナビ  
からのお知らせ

すぎはら たいち  
**杉原 大地さん**

じりつせいかつ ほうこく  
**自立生活プログラム報告**

せいかつかいごあか つうしよ すぎはらたいち じりつせいかつ  
生活介護赤おにに通所している杉原大地さんの自立生活プログラム  
を 4月から始めています。今回(2回目)は、先輩障害者宅訪問を企画で  
とかなつき じたく ほうもん  
渡海奈槻さんの自宅を訪問させていただきました。



とかい はなし しょうかい  
**渡海さんとの話を紹介します。**

ひとりぐ おし  
Q. 一人暮らしするきっかけを教えてください。

おや ひと はや ひとりぐ ほう  
A. 親や、ちゅうぶの人に「早く一人暮らしした方がいいよ。」と  
いわれたのが、きっかけです。

せいかつ なか くふう  
Q. 生活している中で工夫していることはありますか？

かえ あと じぶん うご  
A. ヘルパーが帰った後でも自分で動けるようにコップなどのセッティングをしてもらったり、トイレの失敗  
おお まえ き が お  
多いからトイレの前に着替えを置いてもらっています。

じかんたい き  
Q. ヘルパーは、どの時間帯に来てもらっていますか？

あさ じ じ はい よる じ じ はい にちようび がいいゆつ  
A. 朝は7時～9時に入ってもらっていて、夜は17時～21時で入ってもらっています。日曜日は外出もす  
るから9時～21時まで入ってくれています。

いえ なか いどう  
Q. 家の中の移動はどうしていますか？

こま つ い す すわ いどう おお すぎはら おな ほうほう  
A. 駒が付いた椅子に座って移動することが多いです。(杉原さんも同じ方法)

かんけい  
Q. ヘルパーとの関係でしんどくなることはありますか？

おな くうかん い たが へ や わ  
A. 同じ空間に居てるとお互いしんどくなるから部屋を分けるようにしています。

すぎはら かんそう  
**杉原さんの感想**

ちょうかい ひ あつ しょうがいしゃ す  
町会費を集めることは、めんどくさいけど障害者が住ん  
でいるということを知ってもらえる。という話を聞いて、  
ひと かんけい だいじ おも はなし き  
人との関係は大事だと思いました。ヘルパーとの関係や  
すいどうこうねつひ ぐたいてき はなし き よ  
水道光熱費のことなど具体的な話が聞けて良かったで  
す。



じりつせいかつ あいえるびー おお しょうがいしゃ しょうがい かいもの い  
**自立生活プログラム(ILP)とは？** 多くの障害者は障害があるというだけで、ひとりで買物に行ったり  
ともだち あそ い しごと あ まえ けいけん きかい うしな  
友達と遊びに行ったり、仕事をするなどのごく当たり前のことを経験する機会すら失っています。  
しょうがい せいげん せいかつ うば がいいゆつ りょうり あそ きんせんかんり さまざま けいけん  
障害があることで制限された生活によって奪われてきた外出・料理・遊び・金銭管理など様々な経験を  
じりつせいかつ しょうがいしゃ たの と もど  
自立生活をしている障害者がリーダーとなり楽しみながら取り戻していくプログラムです。



# でいーぴーあい に ほ ん か い ぎ ぜん こ く し ゅ う か い D P I 日本会議全国集会 5/31

## しょうがいしゃ け ん り い い ん か い さ い し ん う ご に ほ ん と く か だ い 障害者権利委員会の最新の動きと日本が取り組むべき課題

5月31日～開催されたD P I 集会で障害者権利委員会の動きや障害者基本計画改正に向けた取組について、講演を聞いたので印象に残ったことを中心に報告します。(文責:堀)

### こくれん しょうがいしゃ け ん り い い ん か い い い ん か つ とう ほう こ く た も ん ひ ろ し べ ん ざ し 国連・障害者権利委員会委員活動報告(田門浩 弁護士)

1月から障害者委員として就任された田門弁護士(聴覚障害者)のお話でした。最近の権利委員会の議論では、災害発生時の障害者の保護の課題や優生思想の除去の課題について、各国の審査を行っているとのことでした。

日本については、次回の建設的対話は2033年8月の予定で、政府報告期限が28年2月、リストオブイシューが30年3月となっているそうです。委員長キム・ミョン氏、視覚障害6名車椅子使用者5名杖使用者1名聴覚障害1名その他5名の陣容とのことでした。

特に、印象的だったのは、国連の公式会議は国際手話で通訳されるが、時間外のブリーフィングやワーキンググループ会議では、ご自分で雇用した2名のアメリカ手話通訳によるそうですが、費用は1名分の半額しか負担してもらえていないということで、国連ですら、通訳の保障は課題なんだなと思いました。



### しょうがいしゃ 基 本 法 へ う かい せい とう う ご こくれん かん こ く ゆう せい ほう ざ ほう さい とう さい はん け つ う い ま か い せい 障害者基本法改正等の動き ~国連勧告、優生保護法最高裁判決を受け、今こそ改正を~



2011年の改正によって、権利条約の批准に向けて国内法が整備できた(以下は堀が把握した概要) D P I は今年度中に障害者基本法の改正を目標にしている。2011年の障害者基本法の改正は、障害者権利条約の批准のために、社会モデルに基づく障害定義の見直し、差別の禁止、国際協調などの原則が盛り込まれ、これを受けて、総合支援法、差別解消法、雇用促進などの法整備が行われ、権利条約が批准されている。

#### しょうがいしゃ 基 本 法 と は、 基 本 方 針 を 示 す 障 害 分 野 の 憲 法 の よ う な も の 障害者基本法とは、基本方針を示す障害分野の憲法のようなもの

基本法とは、なにか？国政の重要な分野において、基本方針を示すもので、憲法と個別法の間をつなぐ親法。つまり、障害分野における憲法ともいえるもので、ここで規定されている具体的な理念や方向性にしたがって、具体的な施策を定める法律が定められる。

#### しょうがいしゃ 基 本 法 の 改 正 が な さ れ ず、 時 代 遅 れ に 障害者基本法の改正がなされず、時代遅れに

では、今、何が問題になっているのか？障害者基本法は、2011年以降、3年後に見直すという規定がありながら改正されずに14年が経過し、時代に取り残されてしまっている。その弊害として、障害者差別禁止法の改正での議論が象徴的である。差別の定義を実態に即したものに直し、「間接差別」「関連差別」「複合差別」などを盛り込むべきと意見を反映していたが、それに対して、「障害者基本法にも規定されていないものを盛り込むことはできない」と一蹴された。どんなに悔しかったか！

#### 障害者基本法のアップデートを

- 2011年 障害者権利条約批准に向けて障害者基本法改正
- 各種法律制定～基本法は改正から10年を経て時代遅れに
  - 2011年 障害者虐待防止法 ※基本法には虐待防止規定無し
  - 2012年 障害者総合支援法
  - 2013年 障害者差別解消法、障害者雇用促進法改正
  - 2018年 障害者文化芸術推進法
  - 2018、20年 バリアフリー法改正
  - 2019年 読書バリアフリー法
  - 2022年 情報アクセシビリティ・コミュニケーション法
- 2022年夏 国連・障害者権利委員会での条約審査  
～総括所見→実施に向け障害者基本法改正を



一方で個別法の改正や創設が進んでいる。虐待防止法ができたが基本法には規定がない。また、障害者文化芸術推進法、読書バリアフリー法、情報アクセシビリティ・コミュニケーション法もできたが、そのあたりの基本法での規定はとても弱い。

総括所見の内容を基本法へ反映したい  
さらには、22年に総括所見がだされた。権利条約の総括所見にそって、これを実行するための基本法の改正がぜひとも必要である。

優生保護法問題を踏まえ差別のない社会を作るために障害者基本法の改正をすべき  
昨年7月に優生保護法問題の画期的な判決が勝ち取られた。それを受け、首相の謝罪、「偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」も公表された。人権侵害に対して迅速に対応する実効性のある体制の構築、つまり独立した人権機関の設立が必要。差別のない社会を実現するために法制度のあり方も踏まえて検討するということは、まさに、障害者基本法を改正すべき問題であると言える。

脱施設、インクルーシブ教育の実現を展望し障害者基本法の改正を勝ち取る  
障害者政策委員会では基本法の改正を求めた声を多く挙げている。事務局の答弁も無視をするのではなく、立法事実の検討などが必要というニュアンスの答弁になってきている。優生の最高裁判決が十分な立法事実でないのか。政策委員会だけでなく、各政党での活発な議論を行う環境を作ることが必要。  
基本法改正ができれば終わりでなく、総括所見実行のための基本法改正である。  
脱施設、インクルーシブ教育実現のため、学校教育法、総合支援法、精神保健福祉法の改正に向けてさらに取組を進めたい。

## 障害者基本法改正で解決したい10のテーマ

### 1. 優生思想に基づく差別・偏見のない社会！

- 旧優生保護法の最高裁判決を踏まえ、「優生思想に基づく差別・偏見のない社会」を基本法に盛り込んで下さい。

### 2. 地域生活の基盤整備！

- 親亡き後も安心して地域で暮らし続けられるために、重度訪問介護の対象拡大、本人の望む生活を支援する支給決定、ヘルパー人材の確保などの基盤整備をお願いします。

### 3. 地域移行のための居住支援！

- 障害者が住める住宅はほとんどありません。バリアフリー住宅の推進、自治体借り上げ住宅、家賃補助を含めた居住支援策の創設をお願いします。

### 4. 住宅や小規模店舗のバリアフリーの推進！

- 共同住宅、飲食店等の小規模店舗、高速バス等はバリアフリー化がほとんど進んでいません。基本法に明記し、新たな取り組みをお願いします。

### 5. 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の推進！

- 権利条約が求めるインクルーシブ教育を実現するために、同じ場でともに学ぶことを原則とすること、合理的配慮の提供を義務化する等の改正をお願いします。

### 6. 共に働く雇用の場！

- 障害者雇用における差別禁止と合理的配慮の提供の義務は障害者基本法に記載されていません。紛争解決を含む相談体制の整備も必要です。

### 7. 複合差別の解消！

- 障害と女性という複合差別を解消する取り組みが必要です。2022年に日本政府に出された権利委員会の総括所見を踏まえて基本法の見直しをお願いします。

### 8. 障害者文化芸術のさらなる推進！

- 障害者が身近な地域で創作や鑑賞の機会を得られるよう、大阪・関西万博以降も文化芸術における合理的配慮の提供と環境整備等のさらなる推進策をお願いします。

### 9. 内閣府障害者政策委員会の機能強化！

- 障害者権利条約の国内監視機関として、内閣府障害者政策委員会が条約の実施状況を直接監視できるように、機能強化が必要です。障害種別や性別等に配慮した委員構成をお願いします。

### 10. 障害当事者の参画による施策の策定！

- 東京2020オリンピックパラリンピックで実現した障害当事者参画を次世代に繋いでいくことが必要です。施策や大規模施設等の計画段階から当事者が参画する仕組みをお願いします。

※尾上さんの許可を得て、レジメから引用しています

しゅうねん さい  
ちゅうぶ 40周年に際して

# これまでのちゅうぶ、これからのちゅうぶを語る

じむきょく り じ だい だん にしおえつこ じむきょく  
～事務局・理事のインタビュー 第11弾 西尾悦子(事務局)

## 「介護をすることは、社会を変えること」

へんしゅうぶ いけだ いしだ  
編集部:池田、石田

### 【大阪には障害者がいる!?】

へんしゅうぶ つうしん はじ にしお  
編集部:通信インタビュー始めます。西尾さんは  
事務局ですが、学生時代からちゅうぶに関わって  
もらい、作業所を経て今はヘルプセンターすてっ  
ぷです。職員になって何年目ですか？

にしお だいがく そつぎょう わん おな  
西尾:大学を卒業してからすぐに35年かな。同じくら  
い古いのは上林くん。

へんしゅうぶ えひ めしゅつしん おも  
編集部:愛媛出身だと思いますが、そもそもなんで  
大阪に来たんですか？

にしお おおさか こ おも おおさか だいがく う  
西尾:大阪に来ようと思って大阪の大学を受けたか  
ら。

へんしゅうぶ おおさか き  
編集部:大阪に来たかったんですか？

にしお そうですね。早く実家を出て自立したかったの  
で。3歳上の兄が大阪教育大学に通っていて、  
西川和男さんの介護に入っていました。まだ介護の  
制度は無くボランティア時代。で、夏休みに帰省し  
てきた時に、高校生の私は兄から話を聞きました。  
「大阪には障害者がおるぞ」みたいな。

へんしゅうぶ おおさか しょうがいしゃ わらい  
編集部:大阪に障害者がおる！？(笑)

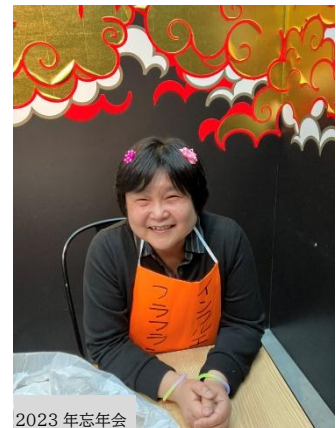
### 面白そうな障害者がいるから大阪へ

にしお えひめ どうじ まち しょうがいしゃ み な  
西尾:愛媛では当時、街で障害者を見ることが無か  
ったんですよ。大阪には西川和男さんっていう  
面白い障害者がいて、介護やってるよって聞いた



て、障害者の活動が面白そうだなと思って、私も  
お役に立てるかなと、やってみたくなった。それ  
で、大学は大阪の大学と決めました。私が大学  
入試の年に制度が変わって、確か、それまでは国  
公立は1校しか受けられなかったけど、私の年か  
ら前期、後期とかで2校受けられる事になったと思  
います。それで大阪の大学に絞って2つ受けた。  
ひとつは府立大の社会福祉学科。もうひとつが  
大阪教育大学の

しょうがいじきょういくだいがく  
障害児教育過程。  
じもと だいがく う  
地元の大学は受け  
ない、私立も受けな  
い。だから、この2  
つに落ちたら終わり  
と思ってました。  
いちおう りょうほうごうかく は  
一応、両方合格は  
しました。



2023 年忘年会

編集部:それで、なんで教育大？

西尾:初めは、府立大が第一希望だったので、府立に行くつもりだったんです。

私、普段はめったに熱出ないのに二次試験(府立大)の時、大阪で発熱して病院行って、熱がある状態で受けて、落ちたと思ったけどまさかの合格。なので、当然、行くつもりでした。

府立大の合格発表は愛媛からだと遠いので兄に代わりに見に行ってもらったんですけど、大学の合格発表の映像とかテレビのニュースで見るじゃない？あの盛り上がる感じが一生に一度くらい、直に経験したいなと急に気が変わって、大阪教育大の合格発表に愛媛から行く事にしました。

教育大は賑やかで活気があった

当時の教育大は今と違って、古い建物で、大学には見えなくて。でも賑やかで活気があって、サークルのピラを配っている人とかいたと思います。それで面白そうだなって思った。一方、府立大の方は合格発表は見に行っていないけど、建物はきれいで、兄が言うには「府立大は落ち着いていたぞ、静かな感じ」って。私も、夏休みに母親と両方の大学を下見には行っていたんですけど、どうしようかな、第一志望は府立大だし、熱が出た状態でせっかく受かったけど…って悩んだけど、自分の直感を信じて教育大に変えました。周りの人には「なんで府立に行かないの？」ってすごく言われたけど。

家を早く出たかった

編集部:教育大は今奈良県境の柏原市だけど、当時は大阪の池田市、天王寺、平野の3つに分かれてましたね。入学式とかは池田でした。ちなみに、なんで家を出たかったんですか？

西尾:まあそれは色々です。それまでの自分を変えろきっかけにしたいとか、早く自立したいとか。で

きるだけ仕送りは最低限にして、奨学金を借りてアルバイトもしたら、ある程度なんとなかなかなあ。国公立は授業料免除の制度があったからタダで行ける事が分かってたし。授業料がタダじゃなかったら、大学には行っていないと思います。

ちゅうぶと関わるサークルに入部

編集部:大学のサークルにはすぐに入ったんです

か？

西尾:そうですね。前は障害者解放研究会って名前です。私が入学したときは「リム」って名前で、ちゅうぶと関わってました。初めの頃は、他のサークルにも顔出しました。婦問研(婦人問題)、解放研(部落解放研究会)とか、在朝研(在日朝鮮人問題研究会)とか、企画あったら行っていました。

編集部:人権系で行こうと思ってたんですね。高校時代から？

西尾:高校生のとき兄から聞いた話が、障害児殺しの話。親が将来を悲観して子どもを殺した。それに対して「親の刑を軽くして」という運動が起こった、どう思う？…そんな話を兄から聞いていた。兄は学生寮に入っていたから。

編集部:当時の寮に入ってる学生は大体運動関係に行くような時代でしたね。

西尾:兄からその話を聞いて「お前どう思う？」って訊かれて、「親の刑を軽くしてあげるのはいいいことだ」と言うたら、それが差別やと言われて。

編集部:リムには学生は何人くらいいた？

西尾:私の代は女子3人でした。他、先輩も入れて10名くらいでした。





## 【 学生時代、衝撃だったこと 】

### 光園が山奥過ぎてビックリ

編集部: 当時リムに入って、覚えていることありますか？

西尾: 衝撃的だったのは障害者入所施設の光園。泉佐野市の山の中過ぎてビックリ。光園に行くまでの道で、確かアケビの実を取ったと思います。野々村隆弘さんの話を施設の屋上で聞いたのを覚えてる。(光園は今、ちゅうぶで外出取り組みをしています。最近、阪和線の駅の近くに引っ越ししています)

編集部: バス停から 20 分かかかるからね。あそこを歩いたんですか？

西尾: 歩きました。ここで一生暮らすっていうというのは衝撃だった。療養ならわかる。けど、一生暮らすなんて。山はうちの田舎にもあるけど、でもね…。あとは南哲治郎さんの家に行ったり。家の真ん中にどんって布団が敷かれた部屋だった。(就学免除で学校に行けなかったが活発に活動していた重度障害者)

### リムとちゅうぶと大交流キャンプ

編集部: 学生の時、介護は誰には入ってた？

西尾: 女性は瀬古さんしかいなかった。1 回生のときは毎週土曜の泊まりに入っていました。結婚して、娘さんも居ました。介護制度がないから、介護入るのも全部自腹。交通費は出ないし、お風呂介護で銭湯に行っても自分の銭湯代は自分で払う。瀬古さんの家にもお風呂はあったけど、狭いし。瀬古さんの、4 歳になる子どもも連れて、介護者はお風呂のときだけ 2 人付けて銭湯に。場所は喜連瓜破だったかな。

編集部: 大学時代の思い出。リムはちゅうぶと一緒に活動した感じだったかな。

西尾: そうですね。大交流キャンプもありました。

学生の時は、障害者と一緒に班長をしたり。

障害者 40 人、健常者 80 人の 120 人でのキャンプ。

職員になってからは、川嶋さんと一緒にキャンプ実行委員をやったり。

編集部: 普段あんまり関係のない障害者もキャンプ

に来てました。半分くらい初めて会う人たち。



西尾: 知的障害や精神障害の人も結構来ていた。

事前の顔合わせ、プレキャンプ、キャンプ、振り返りでポストキャンプがあった。プレキャンプは実際にキャンプをするわけではないんだけど、顔を合わせてどんな人が知っておかないと、キャンプで介護をするわけだから。

編集部: 半分くらいの人が初めて会って一泊二日

介護をするんだから、大変だね。建物は海の家で、全然バリアフリーじゃなかった。

西尾: どんな障害、どんな介護が必要ですかとか、親御さんに事前に聞いて参加者に伝えたり。

### 【 介護に入ってお金もらえるなんて 】

西尾: 私が大学一回生の時って介護は無償。でも南部の方が介護の事業化が早くて、時給が出てた。で、南部で介護に入っている市大の、同い年の子と話したら南部は時給が発生していることを知って。「え、介護って交通費が出て、お金もらえるの？」って衝撃を受けたのを覚えてる。

介護はさせてもらうっていう、勉強させてもらうために入る、というイメージだったからびっくり。今とは感覚違うけど、「介護してお金もらっていいんですか？」って。

でも、私も住んでたアパートはお風呂がなくて銭湯行かなあかんかったから、当時、銭湯代が1回200円ちょっと？で10回分の値段で回数券を買ったら11回入れるっていうのを使ってお風呂行って。それを介護で一回使うのはちょっとしんどかった。大阪に来て、最初は豊中に住んでいたけど、豊中から介護で喜連瓜破に行くのにもお金はかかるから。そういうのを出してもらえるのは助かるなと思ったけど。

## 介護の時給は250円

編集部：学生時代はどんなアルバイトをしてましたか？

西尾：私がしていたバイトは家庭教師。一番割がいいので。それが途切れたときに「和食さと」で働いていた。奨学金だけでは無理なので。平野のお店だったと思う。でも期間としては短かったの、次の家庭教師先が見つかったから。あとは夏休みだけ、矢田の学童保育のアルバイトに行ったり。夏はプールとかで人が必要だから。それで、2回生になったときに、ちゅうぶも介護の事業化をして、交通費とか払うようになって、時給は確か250円だったと思います。

## 卒業してすぐにちゅうぶへ

編集部：介護の制度を作るための事業化だったはず。



1992年EV付銭湯

。今ではちょっとイメージしにくいですが。卒業してすぐちゅうぶに入ったんだよね。ほかの道への迷いとかはなかったの？

西尾：そのままお互いに、職員になるのかな、という感じで。特に就職活動もしなかったし。

編集部：当時の給料ってどうだった？



1992年5月、ちゅうぶ通信取材でエレベーター付銭湯@生野区での写真。当時、聴覚障害学生も介護や通信作業で関わっていました。左：佐々木直子さん、後藤寛子さん

西尾：低かったんじゃないかな？ 一年目は社会

保険にも入ってなくて、各自国保に加入した。2

年目に、社保加入だった。職員の人数は10人ちょっとかな…。

編集部：ところで…ちゅうぶの中でやってきた仕事は何ですか？

西尾：前はずっと通所。無認可作業所と言われてい

た時代から。それから国の制度ができて、おにわ(ちゅうぶの4階建て)ができてからも赤おに(生活介護)担当。すてっぶ(介護派遣部門)は8年前に異動になりました。

## 【作業所で大切にしていたこと。メイドカフェにも行きました…】

編集部：西尾さんが作業所で大切にしていたこと、力を入れていたことはありますか？

西尾：楽しかったのは、いろんな人の役に立ったらいいなって思ってたんだけど、通信の企画で、アクセス調査。駅はバリアフリーが進んでいて当たり前だし、記事にしてもあまり面白くないし。レジャー施設で障害者が楽しめるかっていう軸で調査して、映画館とかにも行ったけど、その時に世間で流行っている場所に調査に行きました。例えばメイドカフェ。障害者も行けるんかなって思って、

行ってみた。行きたい人を募って何か所か割り振りして、グループで行った。事前にメイドさんたちに質問もみんな考えて、メンバーの森川さんは「お嬢様って幾つまで言ってもらえるんやろうねえ」なんて話しながら行った。実際にメイド喫茶で「幾つまでお嬢様って言ってくれる？」って聞いたら、メイドさんに「私の親くらいの世代まで」って言われて、森川さんが「じゃあ私は？」って聞いたら「お嬢様です」って言われて喜んでたりとか。（笑）そういうのを通信に掲載して。

## 競艇も面白かった！

西尾：あと競艇も面白かった。グループホーム・リオが日本財団の支援を受けている。「助成金でリオの柱くらいにはなってるよね？お世話になってるのに、入居者のみんなも行った事ないっておかしいよね？」って話して。（リオ風呂増設工事で助成してもらいました）。何年か、しばらく毎年行っていましたね。興味があるメンバーで。100円から賭けられるから「はまっても知らんで、自己責任やで」って言って。でも賭け方がわからないから、林君に講師をしてもらって事前に勉強会もして。行ってみたら思っているイメージよりもずっと行きやすい場所。あと賭け事になると人格が変わるのも面白かった。「車いすでも行けます！」って通信にレポートを掲載して。

## U S J 100人で楽しもう！企画も！



作業所運動会

それとU S Jも面白かった。「障害者100人でU S Jを楽しもう！」企画。メンバーをグループに分けて「このアトラクションはここが課題。だからこんな質問してみて」って状況を説明して、みんなに調査し

てきてもらって。こっちも学習していかないと、何が課題かわからない。

編集部：結構みんな、U S Jのクルーと30分とか1時間、ちゃんと話をしてた。

西尾：通所に通っているメンバーとちゃんと打ち合わせして、学習して、ああいうのは楽しかった。その時はもう、私はすてっぷにいたと思うけど。

編集部：あと昔は、書き損じハガキを集めて、郵便局に持って行く活動もしてましたね。お店に箱を置いてもらって、地道にやってた。新聞にも載せたら結構ハガキの反響があった。

## 【香害、化学物質過敏症ってなかなか理解されない】

編集部：職員会議でチャレンジシートのテーマで

化学物質過敏症の話をしてくれましたが、みんなにも知ってもらいたい話でした。

西尾：高校時代の友達が、化学物質過敏症で結構苦しんでいる。深刻な状況。仕事も行けない。

基本的に一人で家にいる。

今「香害」が問題になっているけど、洗剤、シャンプー、柔軟剤…そういったものに反応して、頭痛とか倦怠感とか、症状がでて、体調が悪くなる。家族にすら理解されない。「気にしすぎ」「もっと慣れるべき」とかそういう意見を言われて。彼女は住むところにも困っている。

隣の家の人が合成洗剤を使って洗った洗濯物を干している、その空気が窓から入ってくるのもダメ。窓も開けられない。

## 願いは安全に息がしたいだけ

彼女の願いはただ「安全に呼吸がしたい」だけ。引っ越しをするにしても、業者がトラックの中で消毒するサービス、あれもダメ。

終の棲家を探しているが、新しく買った家電製品もダメ、数日屋外で風を通さなければいけない。この病気は周囲の人に生活を変えてもらう必要がある。程度の差はあるけど、..



原因がそれだとは分からずに、症状が出てる人は増えていると思う。

汗のにおいの方が全然まし。でもそれを消そうとスプレーしたら症状がでる。学校で給食当番のエプロンを洗濯して、柔軟剤も使う。それを次の当番の子に渡したら、その柔軟剤で発症して、体調悪くて学校に行けなくなる子もいたり。

最近柔軟剤が多い。エチケットとして香りを付ける人が多い。タバコの害だったら周囲への影響はわかりやすい。なのに、柔軟剤は良かれと思ってやっているところがあるから理解されにくい。

編集部：昔はシックハウス症候群って言われていた。部屋の消臭剤のCMも怖い。子どもがあれを見続けていると、毎日消臭剤を使うのが正しいマナーだと思う大人になる。

ともだち 友達が無理な洗剤やシャンプーは使わない

西尾：私は基本的には、洗剤もシャンプー類も、

友達が無理な物は使わない。そうじゃないと、彼女に会えないから。

遠いので、年に数回しか会えてない。体調が悪くなくてもヘルパーに来てもらうわけにもいかない。

化学物質でさらに体調が悪くなるから。一回でも合成洗剤を使うと分かるらしい。私は基本的にそういうものは使わないけど、たとえば電車に乗って会いに行くけど、私が座った椅子の洗浄消毒や、前に座った人の洗剤がシートに残っていて、移香というのだけど、それだけでも分かるらしい。その友達と以前、自然食品のお店に食べに行ったことがあるけど、その時も途中で体調が悪くなった。食品は大丈夫でも、店員の使っているシャンプーのにおいがダメだった。

きゅう 急ににおいで症状がでる

彼女は、子どもの頃から、急に遠近感がなくなるとか、大学入試の時はテスト用紙のインクのお

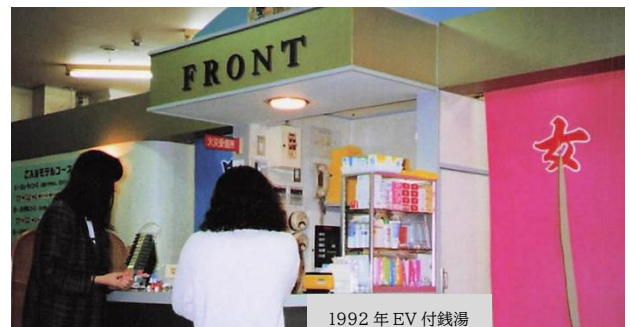
いで字が読めなくなったりとか、そういう症状があったそう。

その時は原因は分からなかったけど。育ったところも、農薬散布がすごかったみたい。

多分、その人の化学物質のキャパシティがオーバーすると発症するのかな。一生、なんともない人もいるけど、分からないから。

だからできるだけ遠ざける方がいいんだと思います。彼女も若いころは普通におしゃれとかもしてたし。今になって、あれが良くなかったんだな、とか気づくけど。

国も「メカニズムが解明されていないから禁止もできない」という感じで、規制もしない。すごく難しいです。今なんともないと、みんな、自分事にできないというところが。



【 ちゅうぶの強み・弱み 】

編集部：今はすてっぷで介護派遣コーディネーター

担当ですが、ちゅうぶの強み、弱みとか、こうなったらいいとか、素朴な疑問とかどうですか？

新人職員がたくさん入ってくれた

西尾：職員が増えて、今年も新人職員が沢山入ってくれている。

今は介護に入ってくれていた大学生が卒業して新しい学生が定着するまで不安定だったり、現在介護派遣している人の生活を守るので手一杯だけど、通所メンバーでこれから自立を目指す人も

いるし、落ち着いたら、そんな人たちに介護派遣  
ができたらいなって思う。

もうちょっと自立できる障害者が増えたらいいなっ  
て思っています。

## いろんなことができる おにごっことか

スタッフもいっぱいいるし、いろんな人がいて、い  
ろんなことができる。

去年で言ったら大阪城の階段補助取り組みとか、  
なんばおにごっこなど、社会的には意味があるこ  
とを、ちゅうぶの中でも、皆が少しずつでも関わっ  
て、全体でできたらいい。

「これやるで！」って呼びかけがもっとできたら  
いい。介護現場ばかりがいいっていう人もい  
るけど、両方程よく関わられるのがいいのかなって思う。  
ウエイトはそれぞれで、力を発揮できるところがあ  
る。

## まわ かいを かんきようを かわる、 しゃかいを かわる取り組み

編集部: そもそも、階段で車いす担いだ経験がある  
人はほとんどいない。どこまで声をかけていいの  
か悩んだ。昔は普通に階段担ぎ上げていたよ  
ね？

西尾: してた。だって階段しかなかったから。

あと、社会モデルって言葉があって、この業界で  
は一般的だけど、私、大学一回生で一年間介護  
して、だんだんしんどくなってきた。自分の生活

もあるし、お金はないし、介護してお金もらおうと  
は思ってたけど、出費が多い。

一年くらい経って、「実はこれは、社会を変えようと  
しているんだよ」っていうのを知って、周りを変え  
る、環境を変える、社会を変える取り組みなんだよ  
って言われて「そうなんだ！」って。

早く知っていたらもっと楽だったかもって思った。

当時はコーディネーターがいないから、障害者  
本人が自分で介護者を探す形だった。

## しゃかい かんが かわる い 社会モデルの考え方で生きやすくなる

編集部: ひたすら介護枠を埋める作業になっていた  
んですね。

西尾: 「社会を変える」って言葉はサークルで知った  
けど、しんどいのは自分が悪いわけじゃないんだ  
って。

今、ナビの東さんが小学校に行って講演したり、  
通所でも学校交流で「どうやって社会モデルを伝  
えよう」って考えたりしてると思うけど、そういう  
意識を早く持てたらいいなって思う。

障害に限らず、そういう考えが広まれば生きやす  
くなる人はたくさんいると思います。

## 【 ストレス解消法・・・ 】

編集部: なるほど。ところで、休みの日はどうしま  
すか？パフェ食べ歩きしているとかな。

西尾: パフェもたまに行きますが、最近家は家にいる事  
が多いです。

ミニシアターでやってるドキュメンタリーとかが好き  
で、七藝(第七芸術劇場)に行きたいんだけど、  
最近、バタバタしていてなかなか行けてないです。  
もう少し落ち着けば行きたいですね。一応会員に  
なってます。

編集部: 3月に学生が卒業して新しい学生が定着  
するまで落ち着きませんね。女性は特に学生が多



123年ちゅうぶ忘年会 ベテラン組の出し物「アイドル養成所...UFO...」会場大盛り上がり！



いので調整が大変だと思います。ストレス解消法は  
なんですか？

西尾：それ聞かれても困るのよー。

編集部：ストレスを食べている？

### 「しあわせは食べて寝て待て」

西尾：そうかも(笑)。あまり考えないようにして  
ます。では、好きなものの話。「しあわせは食べて寝  
て待て」というNHKのドラマがすごく良くて、  
終わってしまったので、ちょっとロスになっていま  
す。

このドラマもそうだけど、自分を癒してくれるもの  
が好きですね。

猫の動画、赤ちゃんの動画。自由気ままに動いて  
いる猫の動画を見ると、癒されます。抹茶系のお  
菓子が好きなので、それを食べながら、赤ちゃん  
や猫の動画を見ていると幸せ。

### 寄り添えるところが素敵

編集部：西尾さんって、たとえばAさんとBさんの  
意見がぶつかっているとき、どちらかに肩入れは  
せず、フェアにものごとを見ながら、それでいてA  
さんにもBさんにも寄り添えるところが素敵だとなっ  
て思う。それは元々得意だったこと？それとも  
意識して身に付いたことですか？

西尾：客観的に見て、こっちが悪いって思っても、そ  
れぞれの言い分ってあるよねって思う。だから、明  
らかにあちらに非があると思っても、それぞれの  
言い分には耳を傾けたいとは思ってる。仕事をし  
ていると、しょっちゅうそういうことはある。自分が  
だれかと対立することがあっても、敵意むき出しに  
してもねえ。でもバランスは難しいよ、難しいなと  
思いながらやっています。

編集部：今日はいろいろ貴重な話、ありがとうございました。

## チャレンジシートで西尾さん作成のマイリーフレットより



ちゅうぶで働く意味って？～西尾悦子

まだ介護の制度がない頃、学生時代の介護ボラ  
ンティアから始まり、色んな障害者と関わらせて  
もらいました。大人になっても服を自分で選んで  
買った事がない等、経験を制限された障害者がた  
くさんいる事に驚き、そんな社会環境に疑問を感  
じました。

ちゅうぶの職員になり、通所部門(赤おに)を  
経て、今は介護派遣のコーディネーターをしてい  
ます。重度の障害者にとって、自分のしたい生活  
を送る事は、不可能だと思い込まされてたり、  
サポートが不十分であるが故に、まだまだ困難な  
状況です。それでも、いろんな人が関わり、一緒  
に悩み、時間をかけて取り組み、10年、20年  
かけて、グループホームでの生活やひとり暮らし  
を実現させたり、初めての旅行に行っ  
たり・・・。

人の力を借りて、自分のままで、やりたい事を  
主張して生きている姿は、社会全体にとってき  
っとプラスになる、いわゆる「生産性」でははかれ  
ない物を感じます。それをもっと社会にアピール  
していきたいですね。



# しまぶくろ 島袋さん ようこそ我が家へ

さる3月27日、島袋さんが我が家に見学に来ました。

島袋さんは今年1月にグループホームリオに入居したばかりの若手のホープです。私とは親子くらい年が離れてます。

島袋さんから私の家にお邪魔したいと言われて実現しました。いろいろ話もできて良かったです。

以下、そのときの話を載せます。

## ①趣味は何ですか

外出、音楽、自宅で楽しめることを探してる  
ドリップコーヒーの適温探し

## ②特技はありますか

パソコン。エクセル検定を取った。  
SNSサーフィン

## ③好きな食べ物・苦手な食べ物

好き→うどん  
苦手→動物性の食品（お腹こわす）

## ④兄弟はいますか

弟が1人（1つ年下）。結婚し、子供がいる。

## ⑤学校はどこに通いましたか

簿記の専門学校を卒業した。

## ⑥卒業してからどうしてましたか

20歳頃、事務職で半年間働いていた。  
21歳頃、貿易会社で営業事務  
その後、別の貿易会社で7年働く。

## ⑦ナビのILPを受けてどうでした

自分の意識を感じることが出来た。  
色々な人と接して考えることが増え、  
勉強になった。

## ⑧リオ入居前の親の反応は

父は2年前は「無理や」と言っていた。  
自身のリオ体験で調理を頑張る父に意思  
を見せたら、認めてくれた。  
ILPで実家での雰囲気良くなった。  
先日、実家に帰ると「顔つきがしっかりと  
した」と言われた。

## ⑨入居してみてどうですか

最高です！！ずっと施設に8年ぐらい居たので  
自由度があって良いです！

全部自分で決めて自由に暮らしています。  
体験者に自宅を見せて、役に立っているよう  
な気分です。

## ⑩将来の夢はありますか

当事者支援のスタッフになりたいです。

## インタビューを終えて

島袋さんのことはほとんど知らなかったの  
で、すごく新鮮でした。話を聞いて感じたことは、  
自分をしっかり見ていると思います。それと  
気配り上手だなと思った。自分ではできないから  
羨ましいです。

島袋さん、楽しい話を聞かせてくれてありが  
とう！！これからもよろしくお願いします。



## あか 赤おに・青おに×ムーブメント

## こうりゅう ゆったい交流ランチ会

5月9日(金)、赤おに・青おにのメンバーと今村、安井、眞野、スタッフの上田、重原かづき、佐々木貴祐が、ムーブメントへ交流に行ってきました。

今回の目的は、ランチを一緒に食べながらの自己紹介&交流タイム。趣味や生活介護での活動のこと、そして「どうして生活介護に関わるようになったのか」など、普段あまり話さないような深い話も出てきて、とてもいい時間になりました。中には、なかなか聞けないような体験談を話してくれた人もいて、心に残る場面も。

思わぬ共通点もいくつか発覚。重原かづきさんの娘さんと、ムーブメントのスタッフの妹さんが同じ中学校に通っていることがわかって、みんなびっくり！眞野君の小学生時代の同級生がムーブメントのスタッフだったこともわかり、懐かしい話に花が咲きました。

こういう出会いや再会って、やっぱりうれしいものです。



ひとつ心残りだったのは、時間が足りなくて全員の自己紹介ができなかったこと。でも、それも「また来よう！」というきっかけに。今回話せなかったメンバーやスタッフの声も、次回きっと聞けるはず。次の交流が楽しみです。



感想

眞野君：小学校の頃の同級生がいて昔の話をした。会えてよかった。

安井君：自己紹介の時にムーブメントのメンバーさんやスタッフの好きなものや事業所に入ったきっかけなど、色々な話を聞けてとても良かったです。

今村：他の事業所に見学に行けて良かったです。もっと他の事業所を見学してみたいとおもいました。

ムーブメントの皆さんありがとうございました！  
また交流しましょう！  
(文責：今村)





# えーいーでいこうしゅうふおー ゆー AED講習for You

先日、通所のスタッフミーティングでAEDと応急手当の講習がありました。

映像で救急救命の流れを見た後、デモキットを使って胸骨圧迫の練習、切り傷ややけど、窒息(喉詰まり)の手当を学びました。胸骨圧迫には思いのほか力が必要で、1分間続けると汗ばんできます。

## ちが違っていてもいいので、動くことが大事

研修を通して、人命救助に最も重要なことは「多少違っていても良いのでとりあえず対応する事、動く事」と教わりました。

正しい手順も大切だけど、マインドが一番大事。でもでも、いざという時、即座に状況判断して動くのは中々難しいですね…。

で・す・が！AEDを起動する(フタを開ける)とその状況に応じた手順が自動音声アナウンスで流れてきます。とりあえずAEDを見つけてフタをあける！！そうすれば何とかなる！のです！新しいAEDには液晶画面が付いていて、画像を使った手順案内もあるそうで、聴覚障害者でも一人で使えます。

ですが、赤おににある物は古く、液晶画面は付いていません…。ちなみに、ちゅうぶの本部建物「おにわ」周辺では、おにわ向かいにある日中活動作業所「赤おに」入口にAEDがあります。

## かくぶしょでも研修があればいいな

避難訓練と同じように、ちゅうぶ各部署でも定期的開催できたら良いな、と思う受講内容でした。今回、作業所「赤おに」「青おに」で依頼した出張講習代は、受講者一人につき 2000円(AED60分+応急手当30分)、大阪ライフサポート協会にお願いしました。

## じんめいきゅうじょ未遂

最後に、私の人命救助未遂話を。以前、住んでいたアパートのすぐ前に、おじいさんが倒れていた事がありました。声をかけても反応がなく、「これはまずい」！と携帯電話を取りに家に戻りました。

救急車を呼びつつ、現場に戻ると、そのおじいさんは既に立ち上がっており、話かけるも、「大丈夫、飲み過ぎただけ」と言います。かなりの高齢に見え頭を打っている恐れもあり、救急車を呼んだ後だったので、乗った方が良くと勧めるも、このまま帰ると言い、歩き始めました。「いえ乗って下さい」、「いやこのまま帰る」、「乗って下さい」、「このまま帰る」のラリーが何度か続いた後、「しつこいんじやお前！！」と怒鳴り始めたその老人。

怒声で無事を確認できたので、放っておけば良いものを、「紛らわしいわ！道で寝るな！」と売り言葉を買ってしまい、怒鳴りあっている間に、呼んだ救急車もどこかに帰っていききましたとき…。

ちなみに、その件以降も道端で寝ている高齢男性を何度か見たことがあります。お酒の缶を持っていたため飲み過ぎという事はわかったのですが、飲み過ぎると酔い覚ましに道に寝る事が一般的な世代(道寝世代)というのがあるのでしょうか。

写真は講習に来ていただいた講師のお二人です。(文責:岩見)



# じるせいしん JIL精神プロジェクトとの出会い

ぶんせき ほんじょう  
(文責: 本庄)

## ソロプレイヤー 万年ぼっち本庄、仲間に会おう

この障害福祉業界には、自分と同じく精神的課題を抱えるスタッフが比較的多く存在するといわれている。私は精神障害者手帳を取得し、当事者活動を合間でさせてもらったり、非正規雇用枠で働いている。しかし自分自身以外で、精神系・発達系の問題をオープンにして就労している人間と話したことがなかった。一つ思いあたるとしたら障大連と一緒に講演したばあとなあの梅田さんくらい。(もしかしたらすぐ近くにもいてるかもしれない。手帳を持っている同僚もわからない。そんな話を深く話せるほど人間関係を築けてないのかもしれない。)何人かいた気もするけれど、深く話す前に辞めてしまう。どのように働いているのかなど話す機会はなかった。何を合理的配慮として求めてよいのかわからない。どこまでが自分の怠惰で、どのように働き、どのような悩みを抱えているのか、知る機会もなかった。

## じるせいしん JIL精神プロジェクトのお誘い あたらしい出会い

最近ナビの堀さんの計らいで、JIL(全国自立生活センター協議会)の精神プロジェクトがやる「CILで働く精神障害・発達障害のワークショップ」のお誘いをうけた。CILに加盟している団体のなかで、精神や発達障害をもつスタッフたちとの交流できるようになり、ZOOMや対面、メーリングリストなどで情報共有がある。素敵な出会いもあった。

JIL精神プロジェクトの一つの成果が、「精神障害を持つ方の合理的配慮について」という44pにわたるリーフレットの制作だ。我々が継続就労で悩む課題…それぞれが悩んできたことに気づかされた。私の拙文も事例のなかで少々だが採用され、ニヤリとした。(数冊、手元で持て余してしまっている)ので、ほしい人がいたら教えてほしい)。JIL精神プロジェクトの皆さんに共感してもらうことを通して、自分は発達障害という狭い当事者意識から、精神障害者という広い分類に対して親近感を持てるようになった。

## たにんごと せいしんしょうがい にゆうしよもんだい こうべし かん でびょういん ぎやくたいじ けん 他人事でなくなった精神障害入所問題—神戸市神出病院の虐待事件

精神プロジェクトを通じて具体的な感情に触れる機会があった。神戸の神出病院で精神病棟入院中息子を亡くされた方の手記を読んだ。しかもそんなに離れた場所ではない、大きな都市であるのがさらにショックである。神戸新聞の記事によると男性患者同士でキスをさせる。陰部にジャムを塗って、別の患者になめさせる。粘着テープで頭をぐるぐる巻きにして看護師が笑っている。怖くなって身震いした。問題になっている精神病棟の不透明性であるが、このような病院がまだまだある。

あおもり きねんびょういん せいしんびょうとう さつじんじ けん いんべい  
青森のみちのく記念病院で精神病棟では、殺人事件さえ隠蔽された。



## みちのく記念病院問題に関する要望書―

みちのく記念病院の殺人隠蔽とその他不正問題のニュースを受けて、2025年3月JILから「みちのく記念病院問題に関する要望書」10項目が厚生労働省に提出された。

JILの要望書ではじめて、服役中の男性は「身体拘束が辛くて、事件を起こせば病院から出られると思った」という趣旨のことを話していると知った。多くのニュースでは、みちのく記念病院の異様性と歯ブラシで殺人事件を起こしたことがクローズアップされる。殺人はよくないことは100も承知だが、「身体拘束が辛くて」という殺人動機について触れているものはほぼなかった。

## 精神の入院は何のためにある…？精神科の入院について

しかし私は精神病棟をすべてなくせとは思わない。入院することで安定を取り戻したり、恐怖となる事項から離れられたり、希死念慮から解放されたりすることもある。神出病院の事件が発覚した2019年、私の友達が精神病棟に入院したのでお見舞いにいった。想像とずいぶん違って、全面窓ガラスの開放的な空間で作業療法士や看護師がたくさんいて、10代らしき入院患者が談話室で笑ってふざけあったり、編み物をしたり、和気あいあいとした雰囲気だった。時間を決めて携帯電話もいじれるし連絡もとれる。入院した友達も、「ケータイが触りにくいのが退屈なくらいで、意外と快適。逆に退院後が怖い」という感想だった。短期入院だからこそその明るさかもしれない。精神病棟に暗いイメージをもっていた私は拍子抜けした。…だが友達も病院を選んだわけではなく、救急車で精神病院に緊急搬送された受け入れ先が偶然その病院だったわけだ。入院先は選べない。しかし、もし受け入れ先がニュースにあるようなところだったら？もしあなたが精神障害者でなくとも、病気が重複して受け入れ先がそこしかなかったら？身寄りのない患者だったら？みちのく記念病院は認知症の高齢者にも虐待を行っていた。「閉鎖的で中が見えない、人が足りない、外に連絡できない、声をあげられない」そんな条件であればどこにでも発生する問題であり、要望書にあった通り、簡単に事実を隠蔽できるような現精神科医療のシステムを抜本的に変えていかないとイケないのだ。

## 「私たちが受け入れなければ、結局地域で暮らせない?!」―別の友達の言葉

精神医療はなぜこんなに時代錯誤なのか？…こりゃそうなるなあと思い知った個人的なエピソードがある。精神病院にソーシャルワーカーとして勤めることになった別の学生時代の友人と話して愕然としたことがあった。ついお互いの仕事の話になり、精神医療の長期入院は問題だよねという趣旨の話をしてしまったのだが、医療サイドで働く彼女の言葉は厳しかった。

「『お願いだから入院させてくれ』といってる人や家族があんなにたくさんいるのに、私たちが受

入れなくなったらあの人たちはどこにいけばいいの。結局、あなたたち人権派は言いたいことだけ  
言って、現実を知らない。実際に私たちが受け入れなくなったら、社会に居場所なんてないじゃな  
い。」

「相談ダイヤル直通の電話おいたりとか、こんなに人権に気遣って、いろいろできる限りのこと頑張  
ってるのに、人権派の人達は永遠にああだこうだってくる。」

「でも、その人たちも、結局地域でなんか暮らせないじゃない。『やっぱり病院に戻りたい、お願い  
だから入院させてください』って泣いて電話してくる人たちに、あなたたちは病院をなくせってい  
うの？看護師さんもいてくれてお医者さんもいてくれて安心なのに。私たちが受け入れてあげなけれ  
ば、一人だったら誰がみてるの？」

私たちはせっかくおしゃれなカフェでパフェを食べていたのに、パフェどころではなくなり、ケンカ  
別れのように解散した。二度と会わないかもなと思った。仕事の話なんかするんじゃなかったと心底  
後悔した。そして友達にも納得させられる言葉を見つけられなかった自分自身にも、悲しかった。「たし  
かに…そういうところは変えていかなきゃいけないよね」、軽く問題意識を共感してもらえるとおもっ  
ていたのに。彼女が真面目で優しい友人なのを知っている。だから権威や役割によって、誰もその  
立場にいればそうになってしまう構造的な問題だと思った。

「結局地域でなんか暮らせないじゃない」「受け入れてあげている」という病院で働く友達の言葉  
に、すべての課題が詰まっている気がした。「仕方ない」が組織の末端まで染め上がっているのだ。

結局は前例を作っていくしかない。どんどん地域で暮らしていくしかないんじゃないか。堂々とヘル  
パーも使ってやろう。「仕方ないでしょ」に屈しない。外野からモノをいってやろう。いつでも見てるぞ  
と思ってもらおう。提供側と受ける側のアンバランスさを是正していくためには、いい子ちゃんでは  
いられない。

CILで働く精神当事者の顔が見えるようになって、発達障害と精神障害は違うしな…という謎  
の境界線が薄まった。自分の問題としてとらえていいのだと思えるようになった。精神も発達も、  
身体も、境界線をこえて、そして、普通だと思っているあなたも、もっと、私ごとのように考えてよ  
いのだ。

参考資料 ●NHK ニュース「青森 病院内殺人隠蔽事件 死亡診断書専門の高齢“みとり医”も」2025年3月7日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250307/k10014742751000.html>

●『みちのく記念病院』の殺人隠蔽と不正問題についての要望書(全国自立支援センター協議会)2025年3月  
27日 <http://j-il.jp/jil.files/20250425.txt> ●神戸新聞「<カビの生えた病棟で―神戸市立病院虐待事件3年>

(1)発覚一報告書から おぞましい行為、集団で黙認」

<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202306/0016526946.shtml> 2023年6月



## きどみちお へや 木戸通雄の部屋

### せいしゅん ぼーと すりー 青春プレイバックPART- 3

#### がけ 崖っぷちのミッチー！！」



## きどみちお へや 木戸通雄の部屋

### こうこうじだい ねんさい ●高校時代と100年祭

まだ、地下鉄谷町線が開通するもっともっと昔、それは木戸が阪南大学付属高校に落ち、工業高校の定時制に通学するお話。



うりわりにしげから市バスに乗り、南海電車の1両車両  
(※当時は♪チンチンチン♪と電車が来た合図で鳴ること  
からチンチン電車と名付けられたのだろう。)

で西平野駅から乗って、苗代田(なわしろだ)駅で降りる。  
記憶では坂道を歩いて文の里の工業高校まで通った。

いまま ねんまえ れいわ ねん がつ にち ねが てん つう  
今から2年前の令和5年10月14日、願いは天に通じたの  
か、文化祭工業高校卒業生OBがなんばに集まり、一夜限りの  
工業高校100年祭を開催した。

みんな歳とったな～。生きててよかった。工業高校が生んだ  
音楽界の「あふりらんぼ」の「おに」ともツーショット！！また、  
ゲストには工業高校出身の芸能人「シグナル」も来ていた。

どくしゃ みなさま なか こうげいこうこう だいにこうげいこうこうざいがくせい そつぎょうせいおーびー  
読者の皆様の中には、工業高校、第二工業高校在学生や卒業生OB  
の皆様もいることだと思います。青春時代に時間が無くてできないこ  
とがあるかも知れませんが、木戸は1回しかない学生時代に好きなこと  
を工業高校で思う存分楽しんでできました。

(※木戸が約37歳、大昔の小さな青おに作業所に通い始めた頃から



約10年ごとに、作業所職員と  
共に工業高校に足を運び、  
定時制高校の教頭先生に頭  
を下げ、文化祭交流を頼んで  
きたのですが、なかなか実現に至らなかった。)



ここで愛読者の皆様へ謝罪しておきます。5月18日(日)の日本橋コ  
スプレまつりの記事を書けられなかったのは、今年から撮影料が  
3,000円かかるという事で、木戸も2月から光熱水費も節約したので  
すが、撮影に参加できませんでした。あしからず。



次は令和7年5月18日(日)、難波生國魂神社「彦八まつり」&京都嵐山竹林のエピソードです。

## ●生國魂神社

「彦八まつり」  
彦八まつりで  
月亭遊方さん(60  
歳)とガッツポー  
ズ!! 本殿で  
参拝、62歳になっ  
ても「結婚祈願」!



## ●京都嵐山竹林

四国の英雄、高知県出身の坂本龍馬の銅像の前でハイ、ポーズ!(職員富田譲治・中村哲雄・木戸通雄)  
さあ、嵐山の渡月橋を渡るぞ!

当日は雨と予報されていましたが、京都も大阪も晴天で暑かったです。



富田さんが指差す目標まで行くゾー! 写真掲載はあり  
ませんが、天龍寺(縁談神社)でも木戸は一心不乱に結婚  
祈願をした。

この日、新人スタッフの奥山さんも同行されました。奥山  
さんの姿が写真  
にないのは読者  
の皆様には残念  
ですが、まる1日  
カメラマンをして



いたからです。

竹林の中、外国人観光客と出会い、その人達は少し日本語ができ  
て英語も使いながら富田さんに道をたずねていました。木戸は英語  
がチンプンカンプンわからなかったです。木戸もその場で知っている  
だけの英単語を使い会話をした所、そのご夫妻は大阪関西万博に  
も東京にも行ってき



た、とのことでした。この人たちはどれだけ羽振りが良いんだろ  
う? いったい何日間日本に滞在しているのだろうか? と思いました。

上の写真は昔流行ったギャグ、タモリさんの「な～んちゃって  
え～」。10代20代の人はこの名台詞、知らないだろうなあ～。

7月号に続く、えうご期待を!! (文責:木戸)



# まの☆すた☆グラム～<sup>か</sup>駆け<sup>め</sup>抜けてゴールデンウィーク編～<sup>へん</sup>

みなさんは今年のゴールデンウィークはどう過ごされましたでしょうか？



真野は介護派遣「すてっぴ」を使って4日外出しました！俺よりもGW中に外出したヤツはいるかい？今日は俺のリア充ぶりを少しだけ紹介するよ！

## ☆4/27淡路島弾丸ツアー★

海が見たくてふらりと淡路島に行った。滞在時間15分！次に行く時はもう少しゆっくりしようかな。



## ★4/29箕面の滝までハイキング☆

マイナスイオンが浴びたくて滝を訪れた。滝までの山道は段差なく、車いすでも滝まで無事到着できた！

## ☆5/3狭山池博物館★

自然史を勉強したくて博物館に行ってきた。池の周りを散策し、春の暖かさを感じました。

## ★5/4大カイズ展☆

ギャンブルのスリルを感じたくて行ってみた…。すごく…ざわ…ざわ…だった…。

みんなもオススメの外出先があったら教えてくれよな！（文責：真野）



きょうりよく か い ひ

きょうりよくしや め い ぼ

# 協力会費・カンパ協力者名簿

|                   |                   |                  |                   |
|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| わたなべ<br>渡部 裕子 さん  | ながのけん<br>(長野県)    | たかい<br>高井 毅 さん   | いずみし<br>(和泉市)     |
| ふじた<br>藤田 さゆみ さん  | ねやがわし<br>(寝屋川市)   | うじろ<br>宇城 喜代江 さん | ひがしすみよく<br>(東住吉区) |
| にしむら<br>西村 さだお さん | ひがしすみよく<br>(東住吉区) | かとう<br>加藤 美奈 さん  | つるみく<br>(鶴見区)     |

がつ にちげんざい  
6月2日現在

きょうりよく たんとう あんどう  
ご協力ありがとうございました (担当: 安東)

ばん で ぐ ち  
「8番出口」

※ホラーゲーム。地下通路に閉じ込められた状況の中、0番をスタート地点として「8番出口」を目指して地下通路を進む中で「異変」を発見した場合は引き返して逆方向に進み、何も起きない場合はそのまま進む。



異変はないかな・・・



異変だ! 「キゲン」じゃ  
なくてほんとに「キゲ  
ン」だよね! 戻れ!



⑧番出口が見つからないんです  
けど...



青おにくん: 「アメ、アメ、ふれ、ふれ♪」

赤おにくん: 「ん?、アメリカをふるの?」

青おにくん:

「アメリカは多様性をやめるみたいだね、航空事故が起きた原因は  
多様性だと言ってたし。雨が降り続くのか、雨がやんだとき、七色 の虹  
が出るのか、一色 の虹が出るのか」

赤おにくん:

「ボクたちは違いを認めて共生 していきたいね」

何 色の虹が出るのかは、未来と、てるてる坊主さんは知ってるのかもね」



| 2025年6月～8月 スケジュール |   |                              |                          |
|-------------------|---|------------------------------|--------------------------|
| 6月21日             | 土 | 22日(日) 28日(土)                | ちゅうぶ重度訪問介護講座6月コース@ちゅうぶ   |
| 7月15日             | 火 | 障大連・対府総決起集会                  | 13時～16時半(予定) @中央区民センター2階 |
| 7月18日             | 金 | 障大連大阪市ブロック「大阪市バリアフリー基本構想&万博」 | 13時半～16時半@コミセン(森ノ宮)      |
| 7月19日             | 土 | ～20日(日)                      | ボムハウス主催、喀痰吸引等(3号)研修@ちゅうぶ |
| 8月26日             | 火 | 27日(水) 28日(木)                | I B U四天王寺大学・重度訪問介護講座     |

●映画「沓かなる」。ALS（筋萎縮性側索硬化症）の当事者の生活、活動、葛藤を描いたドキュメンタリー。監督は「道草」の矢戸大裕さん。2019年末に京都で起こった囁き殺人事件が映画化のきっかけだったとのこと。この事件の時にはすぐに政治家から「安楽死法をつくるべき」という議論が起こった。進行性の難病でもあるALSの症状が進行すると肺を動かす筋肉の動きも鈍くなるため気管切開、人工呼吸器の使用が必要となる。でも実際には7割の人が気管切開を選ばない現実がある。症状・障害の進行自体のしんどさもあるが、一番多いのは「家族の負担を考えると」という理由。痰の吸引をはじめ、体位変換など24時間、365日の全面的な介護、支援が必要となる。家族だけでは現実無理になる。介護保険に加えて重度訪問介護など障害福祉サービスを上乗せで使えるかどうかポイント。D P I 日本会議でも安楽死ではなく「尊厳死」が議論されています。「沓かなる」は映画館での上映は終わりましたが、自主上映の動きもあります。またお知らせします。(いしだ)

●編集後記任されましたが、特に書くこと無いです。(笑)最近、身近で変わったことといえば、去年の7月からコーディネーターを任されたことです。前からやってみたくて思いつつも、実際にやってみたら、楽しい反面日々頭を悩ませています(笑)。最初は、というか、今でも、学生、利用者等の関わり方が難しいなあ～と思います。きつく言ったらパワハラになるし、優しく言っても相手に響かなかつたら意味がない。どういう関わり方が良いのかも、日々悩んでいます。まあとりあえず、これからものんびりと頑張っていきます。(なかや)

●毎年、3月からの数カ月は、介護に入ってくれていた学生さんの卒業(お別れ)と、新しい学生さんとの出会いの季節です。3月に、障害当事者と一緒に「卒業生追出し会」を開催、一緒に鍋を囲み、介護で楽しかったことや辛かったこと、失敗談等エピソードトークで盛り上がり、涙と笑顔で送り出し。学生さんの成長を感じます。そして4月からは、各大学に新歓アピール(介護者募集)へ。私も4月に、数十年ぶりに大学(母校)に行きました。私の学生時代(40年近く前)は介護をやってみませんか?と、学生に声をかけ、ピラを渡した、連絡先を聞く、というスタイルで、ちょっと怪しい団体の怪しい人?に見えていたかも知れませんが、今は大学の先生にアポを取り、授業の中で、障害当事者と一緒にアピールをさせてもらいます。ちょうど、学生時代にボランティアで介護をした経験のある先生で、「昔は制度もなかったから、介護に入る事より、介護者を調整する方が大変だった、でも今は時給をもらって介護を体験できる。すごい事ですよ」とおススメの言葉も。ホントにそうですね。良い出会いを期待します(にしお)

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】  
【自立生活センター・ナビ】  
〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8  
でんわ = 06 (6760) 2671  
ファックス = 06 (6760) 2672



【障害者活動センター 赤おに】  
〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10  
でんわ = 06 (6623) 7300  
ファックス = 06 (6657) 5010

【グループホーム・リオ】  
〒546-0032 東住吉区 東田辺  
2-21-21  
でんわ&ファックス  
= 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぶ】  
NPO法人ちゅうぶ 2階  
でんわ = 06 (4703) 3741  
ファックス = 06 (6628) 0271  
【ヘルプセンター・すてっぶ】  
NPO法人ちゅうぶ 1階  
でんわ = 06 (4703) 3742  
ファックス = 06 (4703) 3743

編集：特定非営利活動法人  
エヌピーオー・ほうじん  
【NPO法人 ちゅうぶ】

〒546-0031  
おおさかしひがしみなとくたなべ  
大阪市東住吉区田辺5-5-20  
でんわ=06 (4703) 3740  
FAX=06 (6628) 0271

ホームページ=https://npochubu.com/  
メールアドレス=chubu@npochubu.com  
ゆうびんふりかこうざ 00960-6-313427  
郵便振込口座: 00960-6-313427  
通信 定期購読料=1年間2,000円